

ダイジェスト版

目指せ、公認会計士！ ～会計なくして経済なし～

福岡県立宇美商業高等学校

2016年2月24日

公認会計士・監査審査会
常勤委員 廣本 敏郎

公認会計士の世界

3つのキーワード

I. 公認会計士とは？ ——“監査”及び“会計”の専門家

公認会計士の 使命

公認会計士は、国家試験である公認会計士試験に合格した者だけに与えられる資格であり、公認会計士法にその使命等が規定されています。

《公認会計士法第1条》

公認会計士は、監査及び会計の専門家として、独立した立場において、財務書類その他の財務に関する情報の信頼性を確保することにより、会社等の公正な事業活動、投資者及び債権者の保護を図り、もって国民経済の健全な発展に寄与することを使命とする。

会計なくして 経済なし

公認会計士は、グローバル化が急速に進む日本経済の健全な発展のために、監査人、コンサルタント、組織内会計士など、経済社会の様々な局面で、きわめて重要な役割を果たすべく幅広く活躍しています。

GLOBAL

金融・資本市場のグローバル化、
企業の海外展開等に伴い、
活動のフィールドは世界に広がっています。

グローバル経営戦略の策定
海外子会社を含むグループ決算

公認会計士
Certified Public Accountant
(CPA)

PROFESSIONAL

監査・会計の専門家として、
高度な専門知識を活かし、
多様なニーズに応じて専門的な視点から
助言・指導を行っています。

株式公開支援・M&A・組織再編

※このほか、税理士として登録を行うことにより、
税務業務を行うことができます。

MISSION

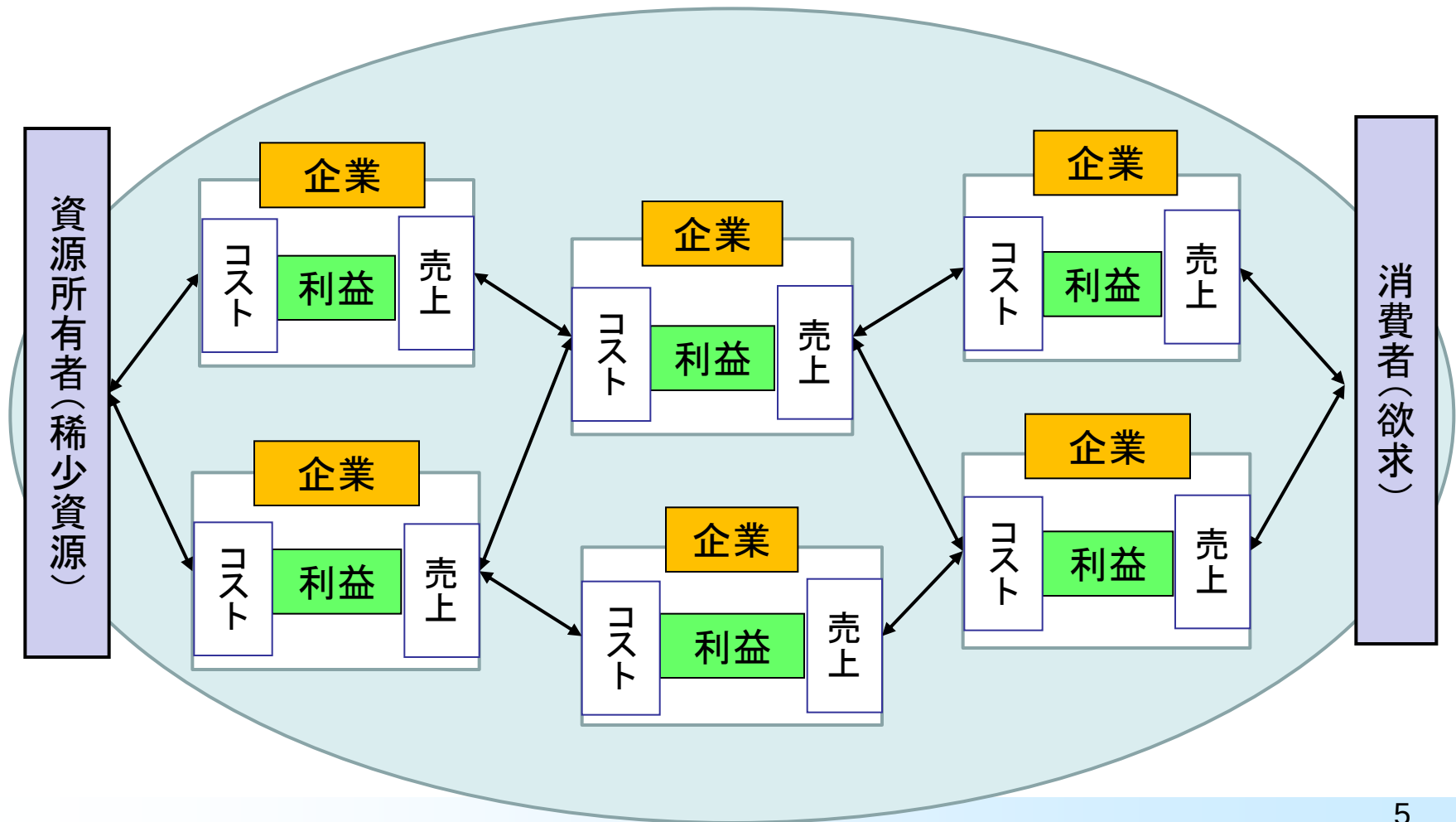
資本市場の番人として、
企業等の財務情報の
信頼性を確保し、
投資家等を保護しています。

企業が作成する決算書の検証

会計なくして経済なし
市場経済を支える簿記会計

市場参加者（企業）の行動原理

～売上最大、コスト最小～



利益を測る技術の誕生

- 利益を測る技術としての「複式簿記」
 - いつ ⇒ 遅くとも1400年代に
 - どこで ⇒ 北イタリアで
 - 誰が ⇒ 地中海貿易に従事した商人たちが複式簿記を生み出した！

歴史上の証拠

数学者ルカ・パチョーリ(1445-1517)がヴェネツィアで1494年に出版した数学の百科全書『算術・幾何・比および比例総覧』の中で複式簿記を解説

(桜井久勝教授の夢ナビライブ2012講義より)

明治における複式簿記の導入

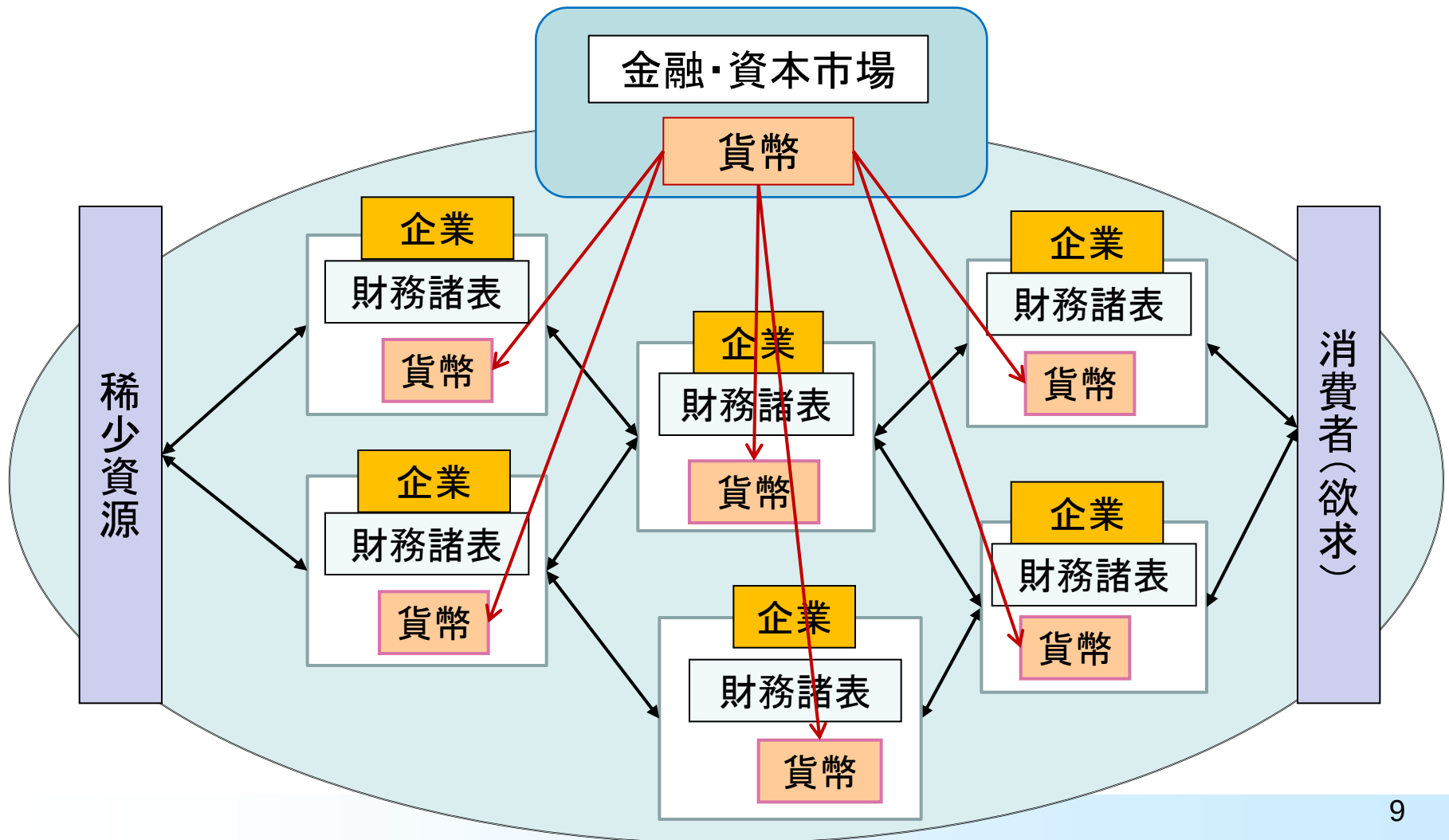
- 複式簿記は、明治の文明開化によって、さまざまな文物とともに西洋から日本に導入された。
 - － 日本における西洋式簿記の導入は、
 - 明治6年6月、幕末明治の啓蒙思想家である福澤諭吉が、ブライアントとストラットンの共著書Book-keepingを翻訳して（『帳合之法』）出版したことに始まる。

会計なくして経済なし

金融・資本市場における公認会計士の役割

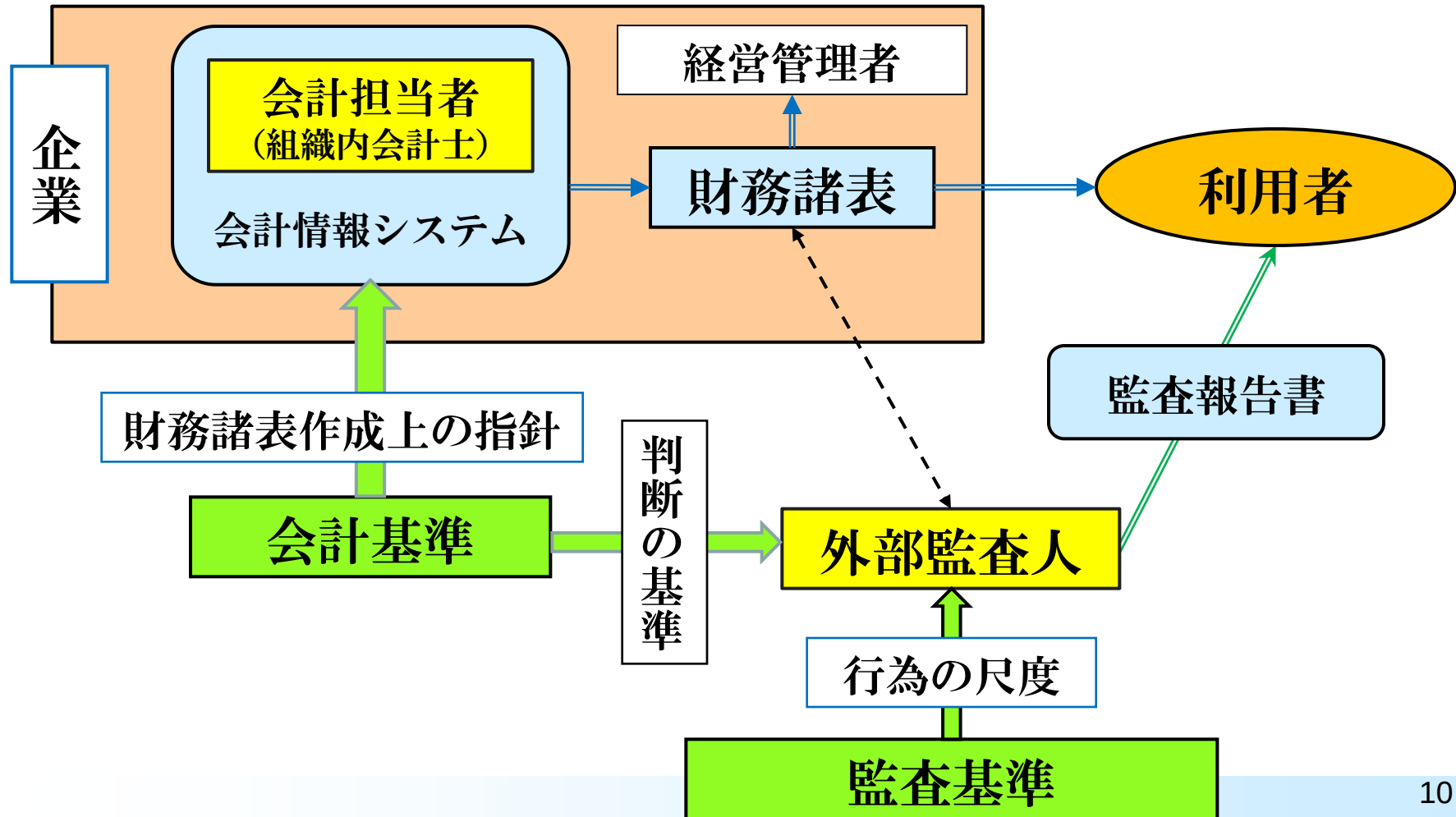
実体経済を支える金融・資本市場

～国民経済における資金の有効かつ効率的配分～



財務情報の信頼性確保のシステム

～公認会計士の重要性～



会計なくして経済なし
市場経済は利益至上主義の世界か？

わが国資本主義経済の原点

～渋沢栄一の理念～

- ・ 「日本の資本主義の父」と称される渋沢栄一は、利潤追求をめざす経済行為の中にも道徳が必要であると主張していた。
 - － 私が常に希望しているのは、「物事を進展させたい」「モノの豊かさを実現したい」という欲望を、まず人は心に抱き続ける一方で、その欲望を実践に移していくために、道理を持って欲しいということである。その道理とは、社会の基本的な道徳をバランスよく推し進めていくことに外ならない。

(渋沢栄一 (守屋淳訳) 『現代語訳 論語と算盤』
ちくま新書、2010年、89頁)

渋沢栄一の理念（続）

- ・ 私は、常に「士魂商才」、すなわち武士の精神と商人の才覚とを併せ持つということを提唱している。
 - － 「商才」というものは道徳を根底としていなければならない。不道徳や嘘、外面ばかりで中身のない商才など、決して本当の商才ではない。そのようなものはせいぜい、つまらない才能や、頭がちょっと回る程度でしかない。

（渋沢栄一『現代語訳 論語と算盤』15-17頁）

会計なくして経済なし

超一流企業の経営と会計

京セラの経営と会計

～フェアなディスクロージャー～

- ・ 経営者は、定められた決算資料においてできるだけフェアな情報開示を行うというだけでなく、日常活動として、投資家に対するIR（インベスターズ・レリーションズ）活動も重視する必要がある。
 - － 証券市場を活性化させるには、証券市場をより公正で透明なものにする必要があるが、それと同時に企業自身が公明正大で透明な経営を行い、フェアで活発な投資家とのコミュニケーションを行っていくことが不可欠である。

（続く）

フェアなディスクロージャー（続）

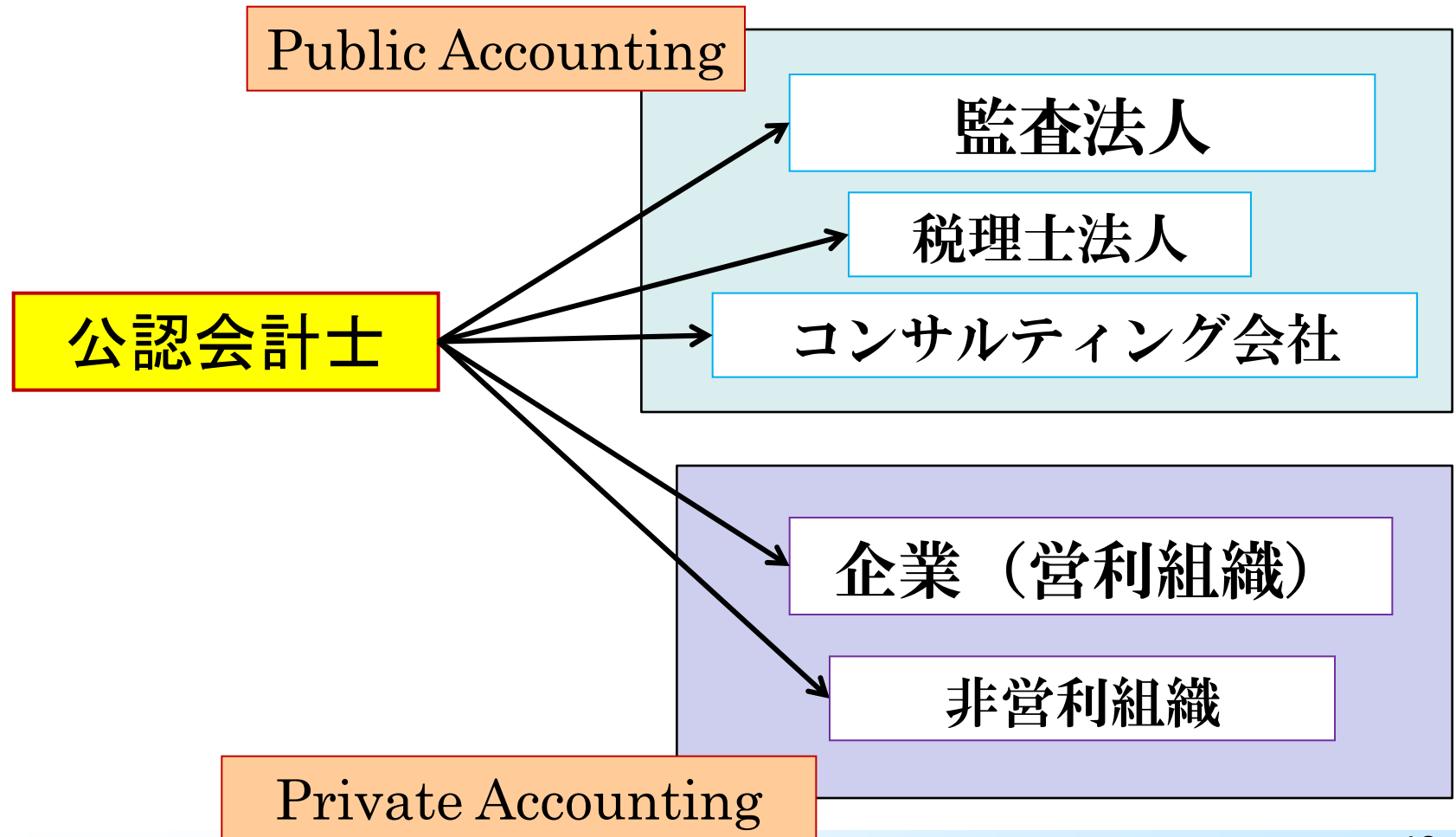
- ・ たとえ「良くない事態」が起きたとしても、勇気を持って社外に対し、ただちに明らかにすることによって、逆に会社に対する信頼は高まっていく。困難に遭遇した時は真正面から立ち向かい、打開策を確実に実行していることを、正直に投資家に対して訴えればよいのである。
 - － このように自社のありのままの姿を包み隠さずオープンにするためには、利益よりも公正さを優先するという確固たる経営哲学が不可欠となる。

（稲盛『実学—経営と会計』154-155頁）

活躍する公認会計士

監査だけでなく経済社会で幅広く活躍

公認会計士の活躍領域



金融行政方針 平成27年9月 金融庁

- 会計人材には経済社会のさまざまな分野での活躍が求められており、また、金融・資本市場のグローバル化、企業活動の海外展開等の進展にも適切に対応していく必要がある。
 - － （こうした中）監査業務を担う公認会計士という職業に関心を持つ者の拡大を図るため、会計監査や公認会計士資格に関し、高校生等若年層や女性に向けた広報活動を、日本公認会計士協会等と連携して推進する。（8頁）

**公認会計士は、皆さんの未来の
魅力ある選択肢の1つです。**

**自分が向かうべき将来に向かって
しっかりと地固めをして
悔いのない高校生活を送ってください。**

公認会計士・監査審査会 廣本敏郎